

<背景・課題>

- 本市は、平成30年6月に国からSDGs未来都市に選定されており、SDGsの達成に向けて先導的な役割が求められている。
- SDGsの達成に向けて、まずは認知・理解度の向上が必要（市民のSDGs認知度：17.9%（H30年度））
- また、SDGs達成のためには、行政・企業・研究機関・市民団体等様々なステークホルダーのパートナーシップを強化し、SDGsの達成に資する取組を自律的に創出していくことが重要

<事業内容>

- SDGs達成に向けた人材育成やパートナーシップ強化を図るとともに、SDGs金融による民間資金等の循環を図ることで、企業など多様なステークホルダーによる営利ベースでの自律的な取組を促進するための新たなSDGsプラットフォーム）を構築・運営する。



- 当初3年間（R2～R4年度）は試行期間的な位置づけとし、堺市負担（会費無料）によりプラットフォーム運営を行う。
⇒ 企業等にとって魅力ある事業展開を行うことで、3年後には、会員からの会費収入等による自律的な運営体制への移行を図る。
- 他のSDGs未来都市や大阪府と連携した活動を行うことで、関西の政令指定都市で、また、大阪府内で唯一のSDGs未来都市として、関西及び府域全体のSDGs達成に貢献